



小池 ゆうや

上尾市議会議員



小池ゆうや 後援会事務所

〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-10-3
TEL. 048-671-7789 FAX. 048-672-8579
yuyakoik@gmail.com

政策の詳細をインターネットで確認することもできます。

小池ゆうや



活動レポート 22

YUYA KOIKE, Ageo City Councilor Report 2026.07

AIに関する国会勉強会を実施!
6月1日、あげお志誠ネットワーク内で総務省・デジタル庁の職員の皆さまと意見交換会を開催。現在市議会として推進しているAI活用について、小池からプレゼンし、貴重な情報交換の場となりました!



尾花あきひと代議士にご協力いただき実現!

速報 生活直結! R8.6月議会で可決した主な議案の内容

Pickup!! 中東情勢の影響から市内事業所を守る意見書を可決!

特集 徹底解説! R8.6月議会小池の一般質問

SNS公式アカウント

SNSでも日々の活動発信中!

facebook instagram X (Twitter) LINE

小池ゆうや後援会では、入会いただける方を募集しています。

本会は、小池ゆうやの政治活動を後援することにより、上尾市政の発展と上尾市民生活の向上を図ることを目的とします。また本会は、会費または、寄附金及び賛助金で運営されます。

趣旨にご賛同いただけましたら、「小池ゆうや後援会事務所」までお問合せ下さい。

皆さまの生活に関連する内容をまとめました! 令和8年6月議会で可決した主な議案

1 物価高対策・水道料金減免

水道基本料金を2か月分免除!

令和8年8月・9月検針分の基本料金を免除。
一般的な家庭で月770円(税込)×2か月分を軽減!

2 避難所環境の改善

避難所の生活環境を改善!

スポットクーラー・パーティション・投光器・防災倉庫などを整備

3 交通空白地対策

民間バスを活用し、新たな運行を実証実験!

UDトラックス(株)の社員送迎バスを活用。移動しやすい地域づくりを推進!

4 コンビニ交付手数料の引下げ

令和8年10月1日から手数料を引下げ!

証明書の種類	現在	10/1から
住民票・印鑑証明・戸籍の附票・公課証明書	200円	150円
戸籍謄本・抄本	450円	400円

コンビニで、より便利に、よりお得に!

5 小規模保育の職員配置基準見直し

専門職の力を保育現場へ!

保育士とみなせる職種を拡大!
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理担当職員・障害児療育の知識や経験を有する方などを追加

6 児童生徒用機の更新

新JIS規格の机へ更新!

- 児童用机: 1,900台
- 生徒用机: 1,970台
- 取得価格: 2,379万6,630円

7 図書館仮本館の整備

本館改修中も図書館サービスを継続!

- 仮本館をまるひろ上尾SCに整備
- 負担金額: 8億5,501万1千円
- 協定の相手方: 株式会社 丸広百貨店

YouTubeから視聴可能!

提案時の様子や詳細な内容は

小池ゆうや公式YouTubeチャンネル

中東情勢の影響から市内事業者を守るための支援強化を!

- 原油やナフサ由来製品などの供給状況、価格動向を継続的に調査し、必要な対策を講じること
- サプライチェーンの混乱や資金繰りに悩む事業者が、迷わず相談できる窓口を明確化し、伴走型支援を強化すること
- 中東情勢の影響を受けている事業所の実態や支援ニーズを、マクロな経済指標だけでなく現場レベルで把握すること
- 業況が悪化している事業者への資金繰り支援を拡充し、既存債務の返済猶予や条件変更にも柔軟に対応すること
- 国の補正予算を柔軟かつ機動的に活用し、自治体が地域事情に応じた独自支援策を実施できるよう、十分な財政措置を講じること

小池が国に求めた5つの要望

物価高騰 上尾市議会で全会一致可決! 中東情勢の影響から事業者を守る意見書

中東情勢の緊迫化に伴い、原油価格の高騰や国際物流ルートへの混乱が、地域経済にも大きな影響を及ぼしています。

上尾市には、自動車・輸送用機器をはじめとする製造業、金属・プラスチック加工業、運輸・物流業など、市民生活と雇用を支える重要な事業所が集積しています。しかし、原材料や燃料費の上昇、部品調達の遅れ、運賃の高騰などにより、中小企業・小規模事業者の経営環境は一段と厳しさを増しています。

こうした状況を受け、小池は上尾市議会に「中東情勢の緊迫化に伴う影響から市内事業者を守るための支援強化を求める意見書」を提出しました。本意見書は、6月定例会において、上尾市議会で全会一致により可決され、国及び政府に対して支援強化を求める上尾市議会の意思として示されることとなります。

国際情勢の影響は、決して遠い世界の問題ではありません。地域の事業者を守ることは、雇用を守り、市民生活を守ることにつながります。今後も現場の声を国へ届け、上尾市の地域経済を支える取り組みを進めてまいります。

徹底解説！小池の視点

令和5年10月議会

一般質問

動画が見れます！
掲載されている
二次元コードから
YouTubeへ

AIとGISで上尾市はもっと良くなる！
データ活用による新しいまちづくりを提案！

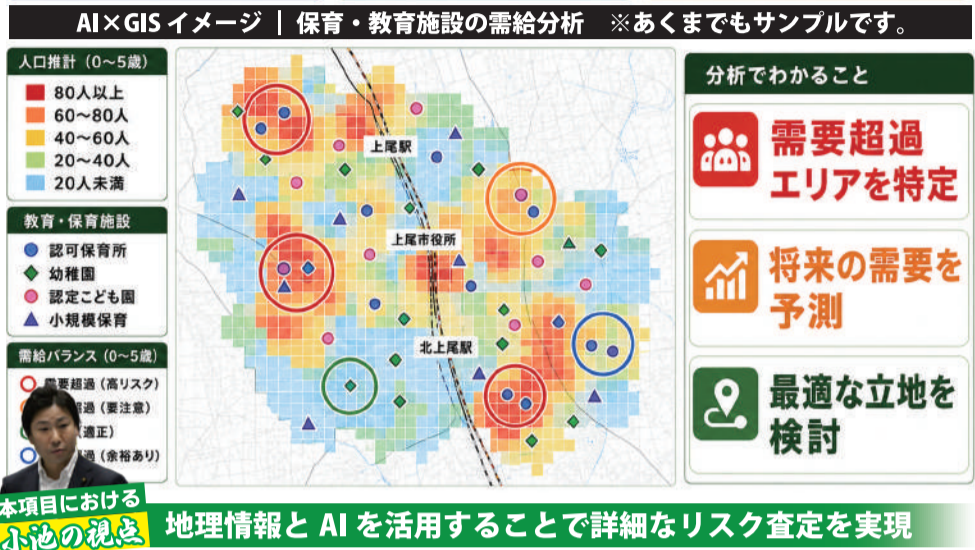
今回の一般質問では、データや根拠に基づく政策立案、いわゆるEBPMの推進について取り上げました。

上尾市では保育需要の推計など一部でデータ活用が進んでいる一方、交通、防災、公共施設、空き家対策など幅広い分野で活用を広げる必要があります。質問を通じて、市からは第6次総合計画後期基本計画の評価において、所管課の主観だけに頼らず評価手法や評価シートを工夫し、客観性を高める検討を進めているとの答弁がありました。

AI×GISでできること

データを重ね、分析し、根拠ある政策立案を実現！

- 1 需要分析**
保育・教育施設の不足エリアを可視化！
- 2 リスク把握**
空き家・管理不全リスクの高いエリアを特定！
- 3 移動最適化**
デマンド交通・バスルートの最適化！
- 4 防災強化**
災害リスクの高いエリアを可視化！
- 5 インフラ計画**
道路・橋梁・上下水道の劣化を予測し、更新を最適化！
- 6 課題の見える化**
人口減少・高齢化など地域の課題や支援ニーズを可視化！



本項目における小池の視点 地理情報とAIを活用することで詳細なリスク査定を実現

子育て

【学童に給食を！】上尾市の子育て支援前進！ 学童配食と保育広域連携を提案。

保育環境の整備では、特に学童保育における長期休業中の昼食支援を重点的に取り上げました。共働き世帯のお弁当づくりの負担、夏場の食中毒リスク、家庭環境に左右されない食事環境の確保は、子育て世帯にとって切実な課題です。

国の「夏休み子ども緊急セーフティネット構築プラン」を踏まえ、市からは子ども食堂などの団体と夏休み中の開催回数増加について協議していることが示されました。

また、学童配食については、これまで昼食代金の扱いやキャンセル対応、保管方法などが課題とされてきましたが、国の支援制度が示されたことを受け、改めてNPO法人あお学童クラブの会と協議するとの答弁がありました。



本項目における小池の視点 国の制度活用で学童配食は充分実現可能

都市整備

【756戸集合住宅開発で学校は大丈夫？】 愛宕三丁目開発と教育環境への影響を問う

愛宕三丁目で計画されている756戸の大規模集合住宅については市制施行以来最大規模の開発であり、地域環境や教育環境への影響が大きいことから継続して取り上げています。

今回の質問では、市内15の関係課が事業者に対して意見や要請を行ってきたことが確認されました。特に通学路の安全確保、旧中山道への横断歩道や信号機の設置、保育施設・放課後児童クラブの併設などを求めた

上尾小学校の基本設計に大規模開発を含めた児童数推計を反映する方針を示しました。ピーク時を見据えた教室配置や、将来の増減に対応できる柔軟な施設設計も検討されることとなりました。

上尾市愛宕3丁目計画 新築工事 計画概要 (抜粋)

3. 地域・地区	工業地域 ・日影規制なし ・高度地区なし	5. 構造・規模	鉄筋コンクリート造、地上15階 地下0階 (最高高さ 46.20m)
6. 住戸数	756戸	7. 駐車場	544台
8. 駐輪場	1,512台	9. バイク置き場	38台
10. 敷地面積	26,759.00㎡	11. 建築面積	6,822.84㎡ (建ぺい率 25.49%)
14. 工事期間	2026年9月30日～2030年3月31日(予定) (工事着手前の2026年8月17日より準備作業を行う予定です。)		

本項目における小池の視点 最大規模の開発。教育現場への影響に対して最大限の配慮が必要。

さいたま市の大宮南小がシントシティ建設による児童急増の影響をみても、本開発による地域への影響を決して楽観視してはいけません。万が一、想定を超えた児童・生徒の増加があった場合、そのしわ寄せは確実に教育現場に向かいます。子どもたちにとって良好な教育環境を維持するためにも、早期に推計を行い、学校関係者と共有を図りながら、施設の更新計画に確実に反映する必要があります。

交通安全

【いつの間にか消えた？】4方向一時停止の規制解除を追及—交通安全は大丈夫か？

交通安全対策では、市民から相談を受けた「4方向一時停止」の規制解除問題を取り上げました。通学路や生活道路において、地域住民や自治会に十分な周知がないまま一時停止規制が解除されていたことは、市民の安心安全に直結する重大な課題です。市の答弁では、全国的に通規制の見直しが進められており、埼玉県警察でも全方向一時停止は原則実施しないという基準に基づき、県内全域で見直しを行っていることが確認されました。

一方で、市としては令和7年度に警察から情報提供があった27か所の交差点について、十字や丁字の路面標示工事、道路反射鏡の修繕・新設など、追加の安全対策を実施していることも明らかになりました。

